

# GRADUATE'S VOICE 03

## イラスト学科

### イラストのスキルを活かし、 業界で活躍する先輩に お話を聞きました！

自分の描いたイラストが世に出て、  
多くの人目に触られるイラストレーターの仕事。  
「ビジュアル」の時代において、  
イラストレーターのニーズは高まっています。  
イラストレーターとして活躍する卒業生に、  
現在の仕事内容や、  
学校生活の思い出について聞きました。

イラスト学科 イラスト専攻  
卒業生

坂田 未来さん

イラスト学科 キャラクターデザイン専攻  
卒業生

長澤 晴奈さん

### デジタルアーツ東京を卒業し、 さまざまなフィールドで活躍する卒業生達。

**長澤さん**：カードゲームやソーシャルゲームのイラスト制作進行、ディレクション周りを担当しています。学生の頃はイラストを描くことに集中していましたが、現在は自分でイラストを描きながら、グッズやポスターのデザインを担当するケースもあります。

**坂田さん**：現在フリーランスのイラストレーターとして、長澤さんが勤める(株)エスプラスからお仕事をいただき、キャラクターのイラストを制作しています。また、マンガ家としても活動しており、月刊連載を持っています。締切に追われる大変さもありますが、シナリオも自分で考えるのでやりがいがあります。

**畠山さん**：私はVTuberプロダクションのイラストレーター窓口担当として、イラストレーターとのやりとりや、上がってきたイラストの社内展開を行っています。グラフィックと違ってVTuberのイラストを描く場合、Live2Dというソフトを使ってキャラクターを動かす工程が関わってきます。そういった工程を理解しながら、イラストレーターの方が表現力を発揮できるようフィードバックしています。また、自分自身のイラストスキルを高めるために、副業としてイラスト制作の仕事も受けています。



### 「絵を描きたい」という気持ちが 夢を追いかける原動力に。

**長澤さん**：将来のことを意識するようになったのは、中学生の時。子どもの

頃から絵を描くのが好きでしたが、周りに言うことができませんでした。担任の美術の先生との三者面談で「絵に関わる仕事に就きたい」と伝えたのがきっかけです。進学先を選ぶにあたって、色々な専門学校の体験入学に参加しました。親から反対されましたが、デジタルアーツ東京は認可校だから安心して通えることを伝えて入学しました。

**畠山さん**：イラストレーターという職業を知ったきっかけは、好きなライトノベルの表紙に描かれているイラストを見たことです。私も親から反対されて短大に進学しましたが、どうしても夢をあきらめきれず、短大卒業後にデジタルアーツ東京に入学しました。デジタルアーツ東京を選んだ理由は、短大生



用の学費サポートがあったこと、また、先生達とのつながりからお仕事をもらえること。再進学する私にとって、こういったサポートがあるのはとてもありがたかったです。

**坂田さん**：私も一度は地元の看護学校に進みましたが、絵を描きたいという気持ちが強くて…。デジタルアーツ東京に通っている友達から、授業や設備が充実していると聞いて入学しました。入学した頃は「絵を描きたい」と漠然と思っていましたが、入学後、企業から仕事を

いただいた時に活躍できる自信がついて、「イラストレーターになろう」という気持ちが芽生えました。